

廃止発電所写真集

廃止発電所シリーズ 5

京都府京都市「高野発電所」 編

諸元一覧表

発電所所在地	京都府京都市左京区上高野	備考
発電所名	高野	
水系河川名	淀川水系桂川鴨川高野川 (1級指定区間)	
事業者	明治33年6月 京都電灯	
事業者変遷	昭和15年4月 京都市 昭和17年4月 関西配電	
廃止年	昭和41年4月	
廃止理由	老朽化	
最大出力 (kW)	180	
最大使用水量 (m ³ /s)	0.89	
落差 (m)	27.1	
位置情報	比叡山ケーブル下	

「関西地方電気事業100年史」：S62.10 より抜粋

以下、ブログより

シリーズ第5段！

今回ご紹介するのは、「高野発電所」です。

京都市の比叡山西側を流れる高野川には 180 k W の小水力発電所が明治 33 年に京都電灯により設置されていましたが、老朽化により昭和 41 年に廃止されています。(私が生まれて 5 年後かぁ。。。)

発電所は比叡山ケーブルの近くで、取水えん堤は上流の八瀬地区にあります。

以前現地調査を行いました。

高野川は河川勾配が緩やかなのですが、唯一急流？ともいえる場所に計画してあるところが、流石に先人達の偉大な考えですね。

取水ダムは現存していますが、導水路は壊滅状態でした。水槽は現存していますが発電所は料亭の下にあり再利用は複雑ですね。

この発電所の復活について概略検討しましたが、水量はそこそこあるものの落差を取りようがないのでダメでした。

と言うのは、導水路が国道により寸断されており、その再建がほぼ不可能と見たからです。国道の横断や埋設はほぼ不可能と判断しています。。。

また、発電所の用地問題も。。。

なので、導水路途中で発電する「導水路ショートカット案」も関西協議会へ報告しましたが、そもそもこれには無理がありましたね。

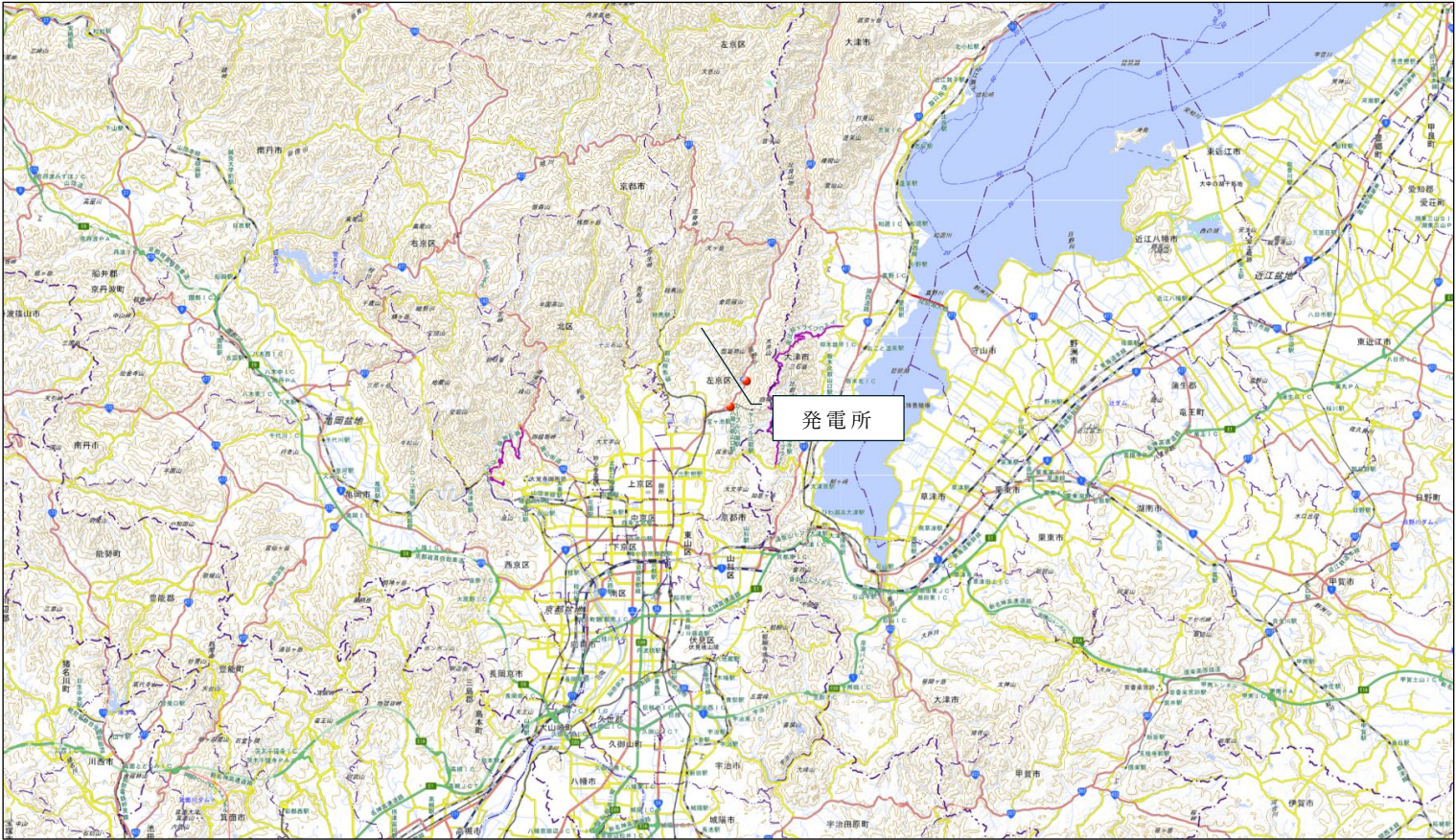
落差が取れないからです。

しかしまだアイディア次第では復活出来ると思います。これには八瀬地区の方々のご協力が必要と考えます。

今後も低炭素化とエネルギーを輸入に頼らない純国産の小水力の普及を目指して行きたいですね。

上述は現時点では扱っていませんのでご注意ください。

推定位置図



推定ルート図



以下 取水堰堤跡



排砂ゲート跡





以下 導水路跡







以下 発電所跡



放水庭は料亭の池に



放水口制水ゲート跡



余水吐ゲート？機能は不明



